

衆議院環境委員会ニュース

平成 24.3.16 第 180 回国会第 2 号

3 月 16 日（金）第 2 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・細野環境大臣、牧野経済産業副大臣、横光環境副大臣、仲野農林水産大臣政務官、津島国土交通大臣政務官、高山環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

田 中 和 徳君（自民）

- ・東日本大震災一周年追悼式で、台湾の代表者に指名献花させなかったことについて、3 月 12 日の参議院予算委員会において野田内閣総理大臣から深い反省の意が述べられた。この件について、内閣の一員である環境大臣の所見を伺いたい。
- ・災害廃棄物の全体を把握するために、被災 3 県の沿岸市町村の災害廃棄物の総量 2,253 万トン以外の内陸部の災害廃棄物の量も明確にする必要があると考えるが、環境大臣の見解を伺いたい。
- ・災害廃棄物の処理の広域的な協力要請を文書で行うだけでなく、野田内閣総理大臣や細野環境大臣が、積極的に各地方自治体に向いて説明していく必要があると考えるが、細野環境大臣の見解を伺いたい。

江 田 康 幸君（公明）

- ・災害廃棄物の安全性についての周知徹底や受け入れ自治体に対する財政支援を行うことにより、広域処理を加速させる必要があると考えるが、細野環境大臣の見解を伺いたい。
- ・1 月 26 日に環境省より公表された「除染特別地域における除染の方針（除染ロードマップ）」は、放射性物質の年間積算線量により除染区分の機械的な選別を行うとしているため、地域のコミュニティが分断されることが懸念される。住民の帰還に向けたロードマップとして見直す必要があると考えるが、細野環境大臣の見解を伺いたい。
- ・原子力規制庁設置関連法案について、長官の人事権が環境大臣にあること、緊急時の長官への委任が限定されていること、エネルギー特別会計の枠内にあり予算の独立性が確保されていないこと、人事のノーリターンルールが課長職以上に限られていることにより、原子力の推進側や政治からの独立性の確保に問題があるとするが、細野環境大臣の見解を伺いたい。

井 上 信 治君（自民）

- ・災害廃棄物の広域処理促進の観点から、地方自治体の受け入れを、単なる国からの協力要請ではなく、努力義務などの法的根拠のあるものとするべきとの意見に対して、細野環境大臣の見解を伺いたい。
- ・放射性物質によって汚染された廃棄物や土壌等を保管管理する中間貯蔵施設の設置に向けた進捗状況及び中間貯蔵開始後 30 年以内に福島県外に設置するとしている最終処分場の見通しについて、環境大臣に伺いたい。
- ・原子力規制庁設置法案については、撤回の上、施行期日の修正及び国会の事故調査委員会の報告を受けた見直し規定を法律に明記して再提出すべきと考えるが、細野環境大臣の見解を伺いたい。

吉 野 正 芳君（自民）

- ・中間貯蔵施設について、双葉町長から、貯蔵期間を 20 年間とすべきこと、町に施設の検査権限を付与すべきこと等の提言が出されたが、これらに対する細野環境大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 23 年 6 月以前に自費で行われた学校の除染により、放射線量が年間 1 ミリシーベルト未満に低下した場合についても、国の助成の対象とすべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・石油石炭税の値上げは本来の意味での環境税ではないのではないか。平成 25 年度に地球温暖化対策のための本当の意味での環境税を導入するつもりはあるのか、細野環境大臣の所見を伺いたい。

高 邑 勉君（民主）

- ・震災廃棄物の広域処理の促進に向けた意気込み及び受け入れを表明した山口県防府市に対する所見について、細野環境大臣に伺いたい。
- ・民間企業が災害廃棄物の焼却灰を用いて製造したセメントを、国が積極的に買い上げて東北の復興事業に活用し

ていく仕組みの構築に向け、関係府省と協議を行う必要があると考えるが、政府の所見を伺いたい。

- ・動物愛護の観点から、被災した動物を終生保護するファームサンクチュアリという考え方にに基づき警戒区域に残された牛などの家畜を保護する必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

齋 藤やすのり君(きづな)

- ・阪神・淡路大震災での知見を有する国が、被災自治体に対して、震災廃棄物の処理が進んでいる仙台市の事例等の情報提供を率先して行う必要があると考えるが、細野環境大臣の見解を伺いたい。
- ・被災自治体に焼却炉を設置することについて、政府が迅速に支援を行っていれば、広域処理に依存せずに震災廃棄物の処理を進めることができたのではないかと。国はこれまでどのような対策を講じたのか、また今後どのような方策を講ずるつもりなのか、細野環境大臣に伺いたい。
- ・震災廃棄物について、不燃物のリサイクルを積極的に促進する必要があると考えるが、政府は今後どのような対策を講ずるつもりなのか、細野環境大臣に伺いたい。